

三菱自動車工業株式会社

# 株主のみなさまへ



平成23年度(2011年度)中間のご報告  
2011年4月1日～2011年9月30日

株主通信 ROUTE

Drive@earth



# ごあいさつ



取締役社長

益子 修

## 目次

ごあいさつ	1
決算の概要	2
アセアン事業戦略	5
電気自動車の展開・拡大	7
新型MIVECエンジン	9
東京モーターショー	10
財務諸表(連結)	11
会社の概要/役員	13
株主メモ	14

株主の皆さまにおかれましては平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、2011年度第2四半期累計期間(2011年4月1日から2011年9月30日まで。以下、上半期)は、4、5月こそ震災の影響が国内生産に波及しましたが、お取引先を始めとする関係者のご尽力により、早期に生産の回復を図ることができました。また、海外での販売が好調だったことにより、前年同期比で販売台数が増加し、売上高およびすべての利益項目で、前年同期実績を上回りました。

しかしながら、配当につきましては、株主の皆さまには大変申し訳なく存じますが、当上半期も実施を見送らせていただきました。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

引き続き、歴史的な円高、タイでの洪水の影響、米国の景気回復の遅れやユーロ経済圏の財政問題の深刻化など、より一層厳しい経営環境が続くと想定されますが、2011年度通期の利益目標の達成に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。

どうか皆さまにおかれましても、今後とも倍旧のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

## 三菱自動車企業理念

大切なお客様と社会のために、走る喜びと確かな安心を、  
こだわりをもって、提供し続けます。

当社は三菱グループ共通の経営方針である「三綱領」\*の精神を受け継ぐとともに、当社の存在意義と進むべき方向を明確にするため、「三菱自動車企業理念」を制定しています。全ての企業活動はこの企業理念に基づいて進めています。

\*「所期奉公」、「処事光明」、「立業貿易」

## 円高の厳しい事業環境ながら販売台数増、増収増益

2011年度上半期の売上高は、円高の一段の進行によるマイナス影響はあったものの、新興国を中心とした市場の伸長や新型車の投入効果などにより販売台数が増加し、前年同期比428億円(5%)増の9,075億円となりました。営業利益は、同273億円(397%)増の342億円、経常利益は同163億円(235%)増の233億円、当期純利益は同155億円改善し106億円の黒字となりました。

販売台数(小売)は、前年同期比4万3千台(9%)増の51万9千台となりました。

日本ではエコカー補助金制度終了の影響などから同1万7千台(19%)減の7万2千台となりましたが、北米、欧州、アジア・その他地域で前年同期実績を上回りました。

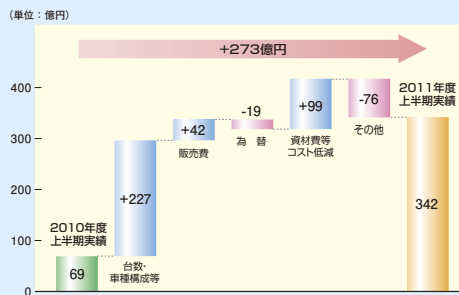
北米では同1万8千台(41%)増の6万1千台、欧州はロシア市場の回復やドイツなど西欧の主要国での販売台数増加により、同1万9千台(20%)増の11万7千台となりました。

アジアおよびその他の地域については、アセアン諸国や中南米地域などの好調に支えられ、同2万3千台(10%)増の26万9千台となりました。

2011年度上半期実績 (6カ月累計、前年同期比)

	2010年度 上半期実績①	2011年度 上半期実績②	差 ② - ①	2011年度 上半期計画 (2011年8月1日公表前)
売上高	8,647	9,075	▲ +428	8,800
営業利益	69	342	▲ +273	180
経常利益	70	233	▲ +163	130
当期純利益	△49	106	▲ +155	0
販売台数(小売)	476	519	▲ +43	518
販売台数(卸売)	521	530	▲ +9	510

2011年度上半期営業利益 変動要因分析 (前年同期比)



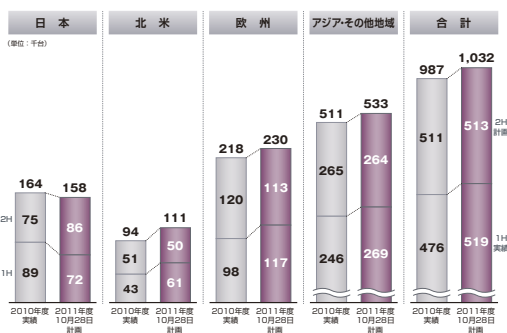
# 歴史的な円高・タイの洪水影響などを打ち返し、利益目標を堅持

2011年度上半期の業績は8月に公表した計画を上回りましたが、2011年度通期の業績見通しは、内外の厳しい事業環境をふまえ、売上高を修正し1兆8,200億円といたしました。しかし、利益目標は2011年6月13日発表の期初公表値(営業利益500億円、当期純利益200億円)を堅持し、引き続き前年度比で増益を目指します。

営業利益では販売台数(卸売)減少による台数・車種構成等の悪化および為替の円高影響を、費用削減・コスト低減等で打ち返す計画としました。

販売台数(小売)については、タイで発生した洪水の影響などを織り込み、6月公表計画値に対し4万3千台減の103万2千台としました。

2011年度地域別販売台数(小売)計画 (前年度比)

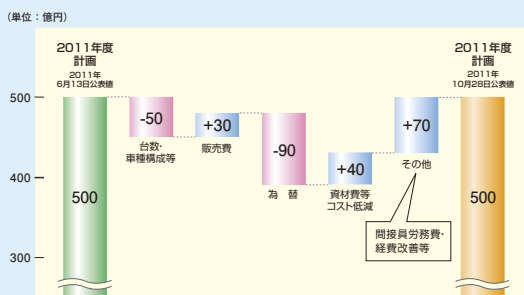


## 2011年度通期業績見通し

(単位: 億円、千台)

	2011年度計画 (2011年6月13日 公表値)	2011年度計画 (2011年10月28日 公表値)	2010年度 実績
売上高	19,500	18,200	18,285
営業利益	500	500	403
経常利益	400	400	389
当期純利益	200	200	156
販売台数(小売)	1,075	1,032	987
販売台数(卸売)	1,173	1,094	1,098

## 2011年度営業利益見通し 変動要因分析 (2011年6月13日公表計画比)



## 2011年度下半期の重点施策

2011年度下半期の取り組みとして、日本では、2011年10月に新型車「デリカD:3」を発売しラインアップを強化しました。「デリカD:2」「デリカD:5」とともにデリカシリーズの販売拡大を図ります。また、新型MIVECエンジンと新開発のアイドルストップ機能により12%の燃費向上を実現した「RVR」「ギャラン フォルティス」などの販売を開始しました(P.9ご参照)。2011年12月には軽商用電気自動車「MINICAB-MiEV(ミニキャブ・ミーブ)」を発売し、環境対応車のラインアップ

の充実を図ります。

また、北米では、すでに高い評価を得ている新世代電気自動車「i-MiEV(アイ・ミーブ)」を2011年11月から投入するとともに、好評の「アウトランダー スポーツ(日本名「RVR」)」の拡販に取り組みます。タイでは、第3工場建設を進め、世界戦略車「グローバルスモール」の円滑な立ち上がりを目指します。

歴史的な円高やタイの洪水の影響、先進国の景気不透明感など、厳しい事業環境が続きますが、これらの施策を全力でやりきることで2011年度通期の利益目標を達成し、2013年度までの中期経営計画「ジャンプ2013」で掲げた「成長と飛躍」の実現に向け足元を固める年とします。



「デリカD:2」



「デリカD:3」



「デリカD:5」

# 成長が見込まれるアセアン地域での事業を

中期経営計画「ジャンプ2013」の初年度が半分経過しましたが、この短い期間においても三菱自動車を取り巻く環境は大きく変化しました。この変化にいち早く対応する新たな打ち手のひとつとして、アセアン事業の強化に取り組むこととしました。

アセアン地域は、今後も大きな成長が見込まれている市場のひとつであり、当社が歴史

的に強みを持つ地域でもあります。特にアセアン主要5カ国(タイ・インドネシア・マレーシア・ベトナム・フィリピン)では、近く総需要が300万台を突破する見込みです。

当社は、これら5カ国で2010年度の販売シェア6.5%、2011年度(9月まで)は8.0%の実績を上げており、2015年度には販売台数36万台、シェア12%獲得に挑戦していきます。

## タイ

アセアン主要5カ国の中でも、タイは全世界に向けて自動車の生産・輸出を担う最重要拠点です。特に、「ランサーEX」「パジェロスポーツ」「トライトン」を生産しているラムチャバン工場は、総面積106万m<sup>2</sup>の敷地内に、複数の工場とモータープールを擁する一大拠点です。建設中の第3工場の竣工後、世界戦略車であるグローバルスマールの生産を開始します。

今後、タイでの生産能力を、21万4千台(2010年度)から46万台(2013年度)に増強する計画です。なお、日産自動車との合意に基づき、日産のピックアップトラック「ナバラ」を2012年度より生産開始する予定です。



ラムチャバン工場内に建設中の第3工場  
(2011年10月)

## アセアンの生産拠点





# 着実に普及を続ける電気自動車

2009年7月に、究極の環境対応車として世界に先駆けて販売を開始した新世代電気自動車「i-MiEV」は、これまでに国内で約5千台を販売。海外市場でも各国政府のEV普及促進の取り組みへの協力など、シェア拡大に向けたさまざまな施策を展開し、輸出やPSAプジョー・シトロエン社向けを含め累計

1万6千台以上を出荷してきました。

電気自動車は、東日本大震災を契機に、「移動手段」としてのみでなく、蓄えている電気を取り出して家庭用に活用する「給電機能」への注目も高まっており、今後はスマートグリッドでの活用など、エネルギー社会の中で重要な役割を果たすことが期待されています。

## 「i-MiEV」にお求めやすい「M」グレード、充実した装備の「G」グレードを設定

機能や装備を厳選することで車両本体価格を260万円\*に抑えた「M」と、一充電走行距離の拡大のほか、ナビゲーションシステムを標準装備とし、タイマー充電・プレ空調機能をもつ「MiEVリモートシステム」をメーカーオプションで装着できるなど、機能・装備を充実

させた「G」（車両本体価格380万円\*）の2グレードを設定し、2011年7月（「G」グレードは8月）から全国の系列販売会社より発売しました。



「M」



「G」

\*経済産業省が実施している「クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金」の対象になっており、一般社団法人 次世代自動車振興センターに申請し、交付決定されることにより、2011年度は「M」で上限72万円（メーカーオプションの急速充電

機能を装着した場合は上限74万円）、「G」で上限96万円の補助金交付が受けられます。

補助金が満額適用された場合のお客様の実質的な車両代負担額は「M」で188万円、「G」で284万円となります。

## 「i-MiEV」の生産ラインを移管し、生産能力を増強

水島製作所の「i-MiEV」生産ラインを、商用車組立ラインから軽四輪組立ラインへ移管するとともに、電池パック組立ラインも同一敷地内に移管し、2011年8月より稼働させ、生産能力の

増強を図っています。2011年度は「i-MiEV」 「MINICAB-MiEV」2車種合わせて約2万1千台の生産・販売を計画しています。

※生産能力：商用車組立ラインでは1時間当たり14台 ⇨ 軽四輪組立ラインでは同49台



## 世界に広がる「i-MiEV」

「i-MiEV」は、日本をはじめ、すでに欧州や香港、オーストラリアなどで販売していますが、2011年11月に米国においても販売を開始しました。

また、三菱商事とエストニア政府の間で締結された温室効果ガス1,000万トンの排出権購入契約に基づき、購入代金の一部として2011年10月からエストニア政府に507台の納車を開始しています。

そのほかにも、モナコ、アイスランド、デンマーク、シンガポール、タイなど、各国政府が推進している

EV普及促進に向けた取り組みに協力するなど、世界中に「i-MiEV」が広がっています。



北米仕様「i-MiEV」。乗車状況に合わせて制御するエアバッグを搭載



## 「MINICAB-MiEV」を12月8日から発売！

「i-MiEV」のモーター駆動技術を活かした「MINICAB-MiEV（ミニキャブ・ミーブ）」を12月8日から発売。最大積載量はガソリン車と同じ350kg。発進時から最大トルクを発生する電気モーターにより、多くの荷物を積載した状態でも、ストレスのない力強い走りが可能です。また、CO<sub>2</sub>を含めた排出ガスが全く発生しない\*ので、食料品や生花などの運搬にも適しています。

グレードは、JC08モード充電走行距離が100kmのCD10.5kWhと、同150kmのCD16.0kWhの2種類を設定。用途に合わせてお選びいただくことができます。

**MINICAB  
MiEV**  
(ミニキャブ・ミーブ)



CD16.0kWh

\*発電から充電までのCO<sub>2</sub>排出量は含まれておりません。

## EVポータルサイト

EVに関する総合情報ポータルサイトです。実際に「i-MiEV」をご利用になられているお客様の声も紹介しております。ぜひご覧ください。

<http://www.ev-life.com/>

「お客様の声」はこちらをご覧ください。……



# 新型MIVECエンジンとアイドリングストップ機能で 12%の燃費向上を達成!

三菱自動車では、中期経営計画「ジャンプ2013」における重点施策のひとつとして環境対応を推進しており、電動車両の開発・商品化、エンジン搭載車のさらなる燃費向上などに取り組んでいます。

その成果のひとつとして、2011年10月には従来型と比べ約12%の燃費向上を達成した新型MIVECエンジンとアイドリングストップ機能「オートストップ&ゴー

新型MIVECエンジンは、従来型エンジンと同じ動力性能を確保しつつ燃費向上を実現した点が最大の特徴です。また、今回新たに開発したアイドリングストップ機能「オートストップ&ゴー (AS&G)」は、信号待ちなどで自動的にエンジンを停止させて燃料消費量を抑制。これらを併せて搭載することで、各車約12%の燃費向上(10・15モード燃料消費率で比較)を実現。平成22年度燃費基準+25%を達成してエコカー減税(75%軽減)に適合しました。

## RVR

(アールブイアール)



75%  
減税

[M][G]グレードに新型エンジンとオートストップ&ゴー (AS&G) を搭載

(AS&G)」を発表。コンパクトSUV「RVR」とスポーティセダン「ギャラン フォルティス」、5ドアハッチバック「ギャラン フォルティス スポーツバック」の3車種に搭載しました。

## MIVEC



1.8L 新型MIVECエンジン

## GALANT FORTIS

(ギャラン フォルティス)



75%  
減税

[EXCEED][SUPER EXCEED]に新型エンジンとオートストップ&ゴー (AS&G) を搭載

## GALANT FORTIS SPORTBACK

(ギャラン フォルティス スポーツバック)



75%  
減税

[SPORT]に新型エンジンとオートストップ&ゴー (AS&G) を搭載

カタログのご請求・お近くの販売店検索は…  
三菱自動車 お客様相談センター



0120-324-860

月~金:9時~17時  
土:9時~12時・13時~17時

[www.mitsubishi-motors.co.jp/purchase/](http://www.mitsubishi-motors.co.jp/purchase/)

携帯電話からも  
お近くの販売店を検索できます



# The 42nd TOKYO MOTOR SHOW 2011

## 東京モーターショーに 新コンパクトカー「MIRAGE(ミラージュ)」などを出展

第42回東京モーターショー2011が、12月3～11日に東京ビッグサイト(江東区)にて開催されました。

三菱自動車では、世界戦略車の新コンパクトカー「MIRAGE」(参考出品車)および環境対応SUVの「MITSUBISHI Concept PX-MiEV II」(参考出品車)をはじめ、12月8日から発売の軽商用電気自動車「MINICAB-MiEV」や、新型MIVECエンジンとオートストップ&ゴー(AS&G)を搭載したコンパクトSUV「RVR」など計15台を出品。

そのほか、地球環境に配慮した低炭素社会の実現、全国的な電力需給逼迫への対策として、家庭内におけるエネルギーの最適利用を促進するための統合システムを紹介する「MiEVハウス」や、電気自動車の駆動用バッテリーから1,500Wまでの給電が

可能な大電力給電装置を利用した「MiEVカフェ」も展示。三菱自動車の環境技術開発力および「人と地球が共生する持続可能な社会構築」への姿勢を示しました。



MIRAGE(ミラージュ)

## 5ナンバーミニバン 「デリカD:3」を新発売

多人数のご家族に、日常からレジャーまで幅広い用途でお使いいただけるミニバン、新型「デリカD:3」を、10月から全国発売しました。デリカシリーズは「D:2」「D:3」「D:5」とラインアップが充実し、さまざまなニーズにお応えできるようになりました。

**DELICA  
D:3**  
(デリカディースリー)



「デリカD:3」は7人定員の「G」、5人定員の「M」の2グレードを設定

## ミツビシ 愛着力 サイトで 「愛着力」を紹介 (<http://aichaku.jp/>)

1台のミツビシ車にずっと愛着を持って乗り続けていただくこと、をテーマに「愛着保証」「愛着リフォーム」「愛着クーポン」などのサービスを展開しています。

お客様との接点として展開している「愛着力サイト」では、クーポンをはじめ、さまざまなサービスをご用意して、お客様からのアクセスをお待ちしています。



イメージキャラクター「愛着トリオ」

# 財務諸表（連結）

## 連結貸借対照表

科 目	前年度末 (平成23年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	科 目	前年度末 (平成23年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)
(資産の部)	百万円	百万円	(負債の部)	百万円	百万円
流動資産			流動負債		
現金及び預金	317,097	292,999	支払手形及び買掛金	278,595	268,671
受取手形及び売掛金	114,432	114,981	短期借入金	219,954	189,813
商品及び製品	127,457	107,547	その他	202,035	189,722
仕掛品	24,305	26,356	流動負債合計	700,584	648,208
原材料及び貯蔵品	37,524	38,277	固定負債		
その他	125,969	108,181	長期借入金	177,995	171,695
貸倒引当金	△10,207	△8,450	その他	185,839	184,869
流動資産合計	736,579	679,892	固定負債合計	363,835	356,565
固定資産			負債合計	1,064,419	1,004,773
有形固定資産	383,564	364,992	(純資産の部)		
無形固定資産	11,856	11,210	株主資本		
投資その他の資産	180,512	180,802	資本金	657,355	657,355
固定資産合計	575,932	557,005	資本剰余金	432,666	432,666
資産合計	1,312,511	1,236,897	利益剰余金	△750,200	△739,790
			自己株式	△15	△15
			株主資本合計	339,805	350,215
			その他の包括利益累計額	△101,030	△127,285
			少数株主持分	9,318	9,194
			純資産合計	248,092	232,124
			負債純資産合計	1,312,511	1,236,897

**資 産 合 計:前年度末から756億円減少**

長期借入金の約定弁済などによる現金預金残高の減少や、海外子会社の在庫（商品及び製品）の減少などが主因。

**負 債 合 計:前年度末から596億円減少**

有利子負債残高が、長期借入金の約定弁済などにより減少したことが主因。

**純資産合計:前年度末から160億円減少**

上半期の当期純利益は黒字となり株主資本は増加したものの、期末為替レートの円高影響による為替換算調整勘定等（その他の包括利益累計額）の減少が主因。

## 連結損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
	百万円	百万円	百万円
売上高	864,678	907,462	1,828,497
売上原価	737,398	746,379	1,538,879
売上総利益	127,279	161,083	289,617
販売費及び一般管理費	120,392	126,863	249,343
営業利益	6,887	34,219	40,274
営業外収益	9,092	6,911	17,930
営業外費用	9,026	17,865	19,255
経常利益	6,953	23,265	38,949
特別利益	879	702	1,350
特別損失	4,252	1,675	9,878
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,580	22,292	30,422
法人税等合計	6,519	10,053	11,338
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益(損は△)	△2,939	12,238	19,083
少数株主利益	1,994	1,649	3,462
四半期(当期)純利益(損は△)	△4,933	10,589	15,621

## 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,975	50,735	103,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,749	△35,876	△52,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,393	△27,778	5,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,610	△11,210	△3,381
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,223	△24,130	52,875
現金及び現金同等物の期首残高	263,453	316,464	263,453
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	22	-	22
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	112
現金及び現金同等物の四半期末残高	282,699	292,334	316,464

## 会社の概要 (平成23年9月30日現在)

社名 三菱自動車工業株式会社  
本社 〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号  
TEL: 03-3456-1111 (大代表)

設立 昭和45年4月22日

従業員数 連結:31,157名  
単独:12,878名

資本金 657,355,059,926円

発行可能株式総数 9,961,597,000株  
(内訳)普通株式 9,958,285,000株  
A種優先株式 438,000株  
B種優先株式 374,000株  
C種優先株式 500,000株  
D種優先株式 500,000株  
E種優先株式 500,000株  
F種優先株式 500,000株  
G種優先株式 500,000株

発行済株式総数 5,538,394,433株  
(内訳)普通株式 5,537,956,840株  
A種優先株式 99,000株  
G種優先株式 338,593株

株主数 普通株式 384,008名  
A種優先株式 12名  
G種優先株式 4名

開発拠点 技術センター  
〒444-8501 愛知県岡崎市橋目町字中新切1番地  
TEL: 0564-31-3100

京都研究所  
〒616-8501 京都府京都市右京区太秦巽町1番地  
TEL: 075-864-8000

十勝研究所  
〒080-0271 北海道河東郡音更町字長流枝22番1  
TEL: 0155-32-7111

生産拠点 名古屋製作所(車両)  
〒444-8501 愛知県岡崎市橋目町字中新切1番地  
TEL: 0564-31-3100

水島製作所(車両)  
〒712-8501 岡山県倉敷市水島海岸通一丁目1番地  
TEL: 086-444-4114

パワートレイン製作所  
京都工場(エンジン)  
〒616-8501 京都府京都市右京区太秦巽町1番地  
TEL: 075-864-8000

パワートレイン製作所  
滋賀工場(エンジン)  
〒520-3212 滋賀県湖南市小砂町2番1  
TEL: 0748-75-3131

パワートレイン製作所  
水島工場(エンジン、トランスミッション)  
〒712-8501 岡山県倉敷市水島海岸通一丁目1番地  
TEL: 086-444-4114

## 役員 (平成23年9月30日現在)

### 取締役

西岡 喬\* 取締役会長(三菱重工業株式会社相談役)  
益子 修\* 取締役社長  
市川 秀\* 取締役副社長  
春成 敬\* 取締役副社長  
上杉 雅勇\* 取締役副社長  
相川 哲郎 常務取締役  
青砥 修一 常務取締役  
太田 誠一 常務取締役  
中尾 龍吾 取締役  
福田滝太郎 取締役  
佐々木幹夫 取締役(三菱商事株式会社相談役)  
矢嶋 英敏 取締役(株式会社水島津製作所相談役)

### 監査役

村本 修三 監査役(常勤)  
木村 英生 監査役(常勤)  
三木 繁光 監査役(株式会社三菱東京UFJ銀行特別顧問)  
岡本 行夫 監査役(株式会社岡本アソシエイツ代表取締役)  
河本雄二郎 監査役(三菱重工業株式会社取締役常務執行役員)

- (注) 1. \*印は当社における代表取締役を示しています。  
2. 取締役 佐々木幹夫氏および矢嶋英敏氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
3. 監査役 三木繁光氏、岡本行夫氏および河本雄二郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会開催日 6月
- 同総会議決権行使株主確定日 3月31日
- 期末配当金支払株主確定日 3月31日
- 中間配当金支払株主確定日 9月30日
- その他の基準日 上記のほか必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
- 公告の方法 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは東京都内において発行する日本経済新聞に掲載して行います。(公告掲載アドレス)  
<http://www.mitsubishi-motors.com/jp/corporate/ir/stockinfo/koukoku.html>
- 1単元の株式数 普通株式は1,000株 優先株式は1株
- 証券コード 7211
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
- 郵便物送付先・電話照会先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL:0120-232-711 (フリーダイヤル)

### ※住所変更、単元未満株式買取請求、その他各種お手続き等のご請求について

1. 証券会社等の口座をご利用の場合・・・お取引の証券会社等にお問合せください。
2. 「特別口座」に記録されている場合・・・三菱UFJ信託銀行株式会社(TEL:0120-232-711)にお問合せください。

## 三菱自動車ウェブサイト投資家情報ページ

当社では決算情報をはじめ、アニュアルレポートやファクトブック、社会・環境報告書などをウェブサイトに掲載しています。アニュアルレポートでは、当社の財務状況や事業活動について詳しく説明しています。また、過去の株主通信もご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

<http://www.mitsubishi-motors.com/jp/corporate/index.html>



表紙のイラストの中にはクマが隠れています。探してみてくださいね。

表紙：三菱自動車 デザイン部 熊谷周作

## 株主通信 ROUTE

三菱自動車工業株式会社

平成23年度(2011年度)中間のご報告

広報部 平成23年12月発行

〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号

TEL:03-3456-1111 (大代表) <http://www.mitsubishi-motors.com/jp/>

